

令和3年産

# 大崎稲作情報 第4号

令和3年6月24日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

## 今後の管理のポイント

- ✓ 中干しは有効茎数に達したら早めに行いましょう
- ✓ いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう
- ✓ 雑草防除を徹底し、斑点米カメムシ類を抑えましょう

## 1. 気象経過

6月1～3半旬は高温・多照・少雨で推移し、6月4半旬は気温や日照時間が平年並みで、降雨のあった6月19日に梅雨入りしました。6月16日には加美町西部で降ひょうがあり農作物被害が発生しています。

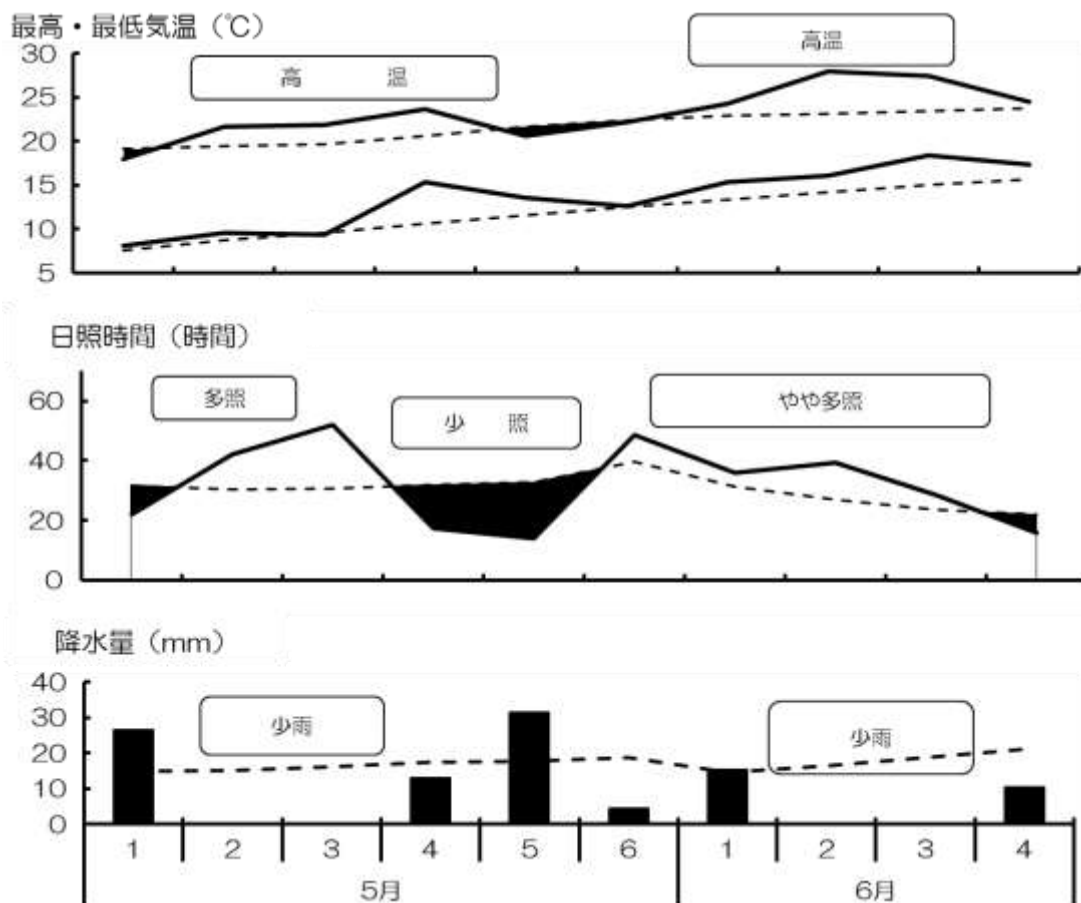


図1 5・6月の気象 (古川アメダス)

## 2. 生育概況（6月21日現在）

5月6半旬以降、気温と日照時間が平年を上回って推移し、生育は順調に回復しました。ほとんどのほ場で草丈・茎数・葉数・葉色ともに平年を上回っており、過半のほ場では有効茎数に達しています。

表1 生育調査結果

品種名	地区名	田植・播種月日	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m <sup>2</sup> ) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	備考
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月2日 (3日早い)	45.8 (121%)	520 (126%)	9.0 (+0.4)	45.3 (+3.0)	
ひとめぼれ	加美町小野田	5月16日 (1日早い)	38.5 (111%)	375 (113%)	9.2 (+1.3)	41.4 (-1.3)	
ササニシキ	大崎市古川	5月10日 (1日遅い)	35.7 (102%)	271 (61%)	7.9 (-0.6)	44.0 (+3.4)	
つや姫	色麻町四竈	5月3日 (1日遅い)	44.1 (111%)	587 (130%)	9.2 (+0.7)	43.4 (+0.3)	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	5月16日 (13日遅い)	45.0 (94%)	415 (108%)	9.1 (-0.4)	48.3 (+5.6)	前年比・差
金のいぶき	大崎市三本木	5月10日 (3日遅い)	39.3 (107%)	508 (89%)	9.6 (-0.3)	43.8 (+3.3)	前年比・差
まなむすめ	加美町宮崎	5月14日 (平年並み)	43.6 (115%)	582 (136%)	9.0 (+0.9)	43.9 (+1.3)	
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月22日 (2日早い)	30.4 (120%)	167 (90%)	7.7 (+0.8)	41.5 (+1.3)	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月16日 (2日早い)	39.4 (115%)	476 (115%)	9.0 (+0.9)	41.0 (+1.5)	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	5月3日 (4日早い)	30.6 (123%)	369 (125%)	7.8 (+1.4)	46.4 (+6.3)	
県平均（ひとめぼれ 24ほ場）			40.9 (114%)	455 (110%)	8.8 (+0.1)	42.6 (+0.2)	

※平年比・差は前5か年（平成28年～令和2年）の平均値との比較

## 3. 今後の管理

### 1) 水管理 **中干しは有効茎数に達したら早めに行う**

#### ● 中干し

中干しは、有効茎数（表2参照）に達したら早めに行いましょう。中干しが遅れ、分げつ数（穂数）が過剰になると、籾へ十分に栄養が行きわたらず、白未熟粒の発生といった品質低下を招く原因となります。

中干しの主な効果

#### ▶ 根の活力向上

土壌中に酸素を供給することで根腐れの原因となる有害物質を抑制し、根の活力を高めます。

#### ▶ 無効分げつの抑制

稲の窒素吸収が制限され、無効分げつの発生を抑えます。

➤ 耐倒伏性の向上

土壌を締め、下位節間の伸長が抑えられることで倒伏しにくくなります。

● 走り水

中干し終了後は走り水で飽水管理を行い、徐々に間断かん水に切り替えることで、根の活力維持に努めましょう（急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、根が傷みます）。

有効茎数の目安

✓ 有効茎数の目安

ひとめぼれ 410本～460本/㎡

ササニシキ 480本～510本/㎡

だて正夢 350本～400本/㎡

✓ 右表の「1株当たりの有効茎数」は、「有効茎数(本/㎡)÷田植え時の設定株数(株/坪)÷3.3」により算出。

✓ あくまで参考値ですので、中干しの判断はほ場全体の生育状況を見ながら行いましょう。

表2 1株当たりの有効茎数(本/株)の目安

		田植え時の設定株数(株/坪)		
		50	60	70
有効茎数 (本/㎡)	400	26	22	19
	450	30	25	21
	500	33	28	24

○ 水深 ←—— 間断かん水 ——→ ←—— 中干し ——→ 走り水 → 間断かん水 ——→

○ 効果 根の活力維持, 土壌の酸素供給 過剰分げつの抑制, 根の活力維持, 倒伏抑制



図2 今後の水管理

## 2) 病害虫防除

### ● いもち病

- いもち病は、葉では円形～楕円形で灰緑色、水浸状の病斑を生じた後に、ひし形で中央部灰白色等の病斑が生じます。
- 近年は、いもち病による目立った被害は少なくなっていますが、湿度の高い曇雨天が続くことで発生しやすい条件となります。
- ほ場を観察し、いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。本田で確認された場合は直ちに茎葉散布剤を散布しましょう。
- 葉いもちの感染好適日は宮城県病害虫防除所のHPで確認できます。予防防除等を検討される際の参考にしてください。

HP <<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>>



いもち病

### ● 斑点米カメムシ類（雑草防除）

- 斑点米カメムシ類の発生を抑えるため畦畔の草刈りや水田の雑草防除を行いましょ。
- 畦畔・牧草地などの草刈りは水稻出穂期10日前までに行いましょ。
- アカスジカスミカメは、雑草のイヌホタルイを利用して水田内で繁殖します。イヌホタルイが発生している水田では、雑草防除を徹底しましょ。

※ アカスジカスミカメは宮城県で発生する斑点米カメムシ類の最重要種であり、管内に発生する斑点米カメムシ類のおよそ9割を占めます。



アカスジカスミカメ（成虫）

### ● 紋枯病

- 紋枯病は葉や葉鞘にて、周縁部が緑褐色や褐色、内部は灰緑色や灰白色の楕円形の大きな病斑が生じます。
- 紋枯病は前年の病斑上に形成された菌核がほ場に残り、翌年の伝染源となる土壌伝染性の病害です。
- 前年発生した水田では、穂ばらみ期に水面施用剤の施用、もしくは穂ばらみ期から出穂期の茎葉散布剤の施用を検討しましょ。
- 特に、気温が22～23℃を超え、株間湿度が高くなると発生しやすくなります。



紋枯病

**東北地方 1 か月予報**  
(6月26日から7月25日までの天候見通し)

令和3年6月24日  
仙台管区气象台 発表※抜粋

**<予想される向こう1か月の天候>**

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は東北太平洋側で平年並または高い確率とも40%です。2週目は平年並または高いとも40%です。

**<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>**

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北太平洋側	20	40	40
【降水量】	東北地方	20	40	40
【日照時間】	東北地方	40	30	30

**<気温経過の各階級の確率(%)>**

		低い	平年並	高い
1週目	東北太平洋側	20	40	40
2週目	東北太平洋側	20	40	40
3~4週目	東北太平洋側	30	40	30

**◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中(4月1日~6月30日)◆◆◆◆◆**

農作業中の事故は農業機械によるものが多く、また、機械の転倒や転落が大きな要因となっています。あぜ越えや路肩を走行する際は油断せずに、後方確認を行い足元にも注意しましょう。

重点推進テーマ 「見直そう! 農業機械作業の安全対策」

**◆◆◆◆◆農薬危害防止運動(6月1日~8月31日)◆◆◆◆◆**

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「農薬は 周りに配慮し 正しく使用」